

# 第2期スポーツ基本計画のポイント



スポーツ基本計画… スポーツ基本法(2011(平成23)年公布・施行)に基づき、文部科学大臣が定める計画。第2期は2017(平成29)年度～2021(平成33)年度。

第1期基本計画		第2期基本計画		第2期基本計画	
2012	2013	2014	2015	2016	2017
2020年 東京大会の 開催決定		障害者スポーツが 厚労省から 文科省へ移管		第2期 基本計画 創設	
				第2期 基本計画 策定	
				ラグビー ワールドカップ等 競技大会	
				東京オリンピック・ パラリンピック 競技大会	
				ワールド マスターズ ゲームズ関西	
2018	2019	2020	2021	2022	

## 1

「する」「みる」「ささえる」

スポーツ参加人口の拡大

- スポーツ実施率(週1) 42% ⇒ 65%
- スポーツをする時間を持たいたいと思う中学生 58% ⇒ 80%

スポーツに関わる人材の確保・育成  
総合型地域スポーツクラブの  
中間支援組織を整備 47都道府県  
学校施設やオープンスペースの有効活用

大学スポーツアドバイザーを配置 100大学  
など

## 2

～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life～

「人生」が変わる！ 「社会」を変える！ 「世界」とつながる！

- スポーツで 人生を健康で生き生きと したものにできる。
- 共生社会、健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化 に貢献できる。
- 多様性を尊重する世界 持続可能で逆境に強い世界
- スポーツを通じた健康増進 女性の活躍促進

### 「未来」を創る！

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機として、  
スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、  
レガシーとして「一億総スポーツ社会」を実現する。

スポーツ市場規模の拡大  
5.5兆円 ⇒ 15兆円 (2025年)

スポーツツーリズムの関連消費額  
2,204億円 ⇒ 3,800億円

戦略的な国際展開  
100か国以上1,000万人以上にスポーツで貢献  
2020年東京大会等の円滑な開催

### ポイント1

スポーツの価値を具現化し発信。  
スポーツの枠を超えて異分野と積極的に連携・協働。

### ポイント2

数値を含む成果指標を第1期計画に  
比べ大幅に増加(8⇒20)。

### 3 国際競技力の向上

オリンピック・パラリンピックにおいて  
過去最高の金メダル数を獲得する等  
優秀な成績を収められるよう支援  
中長期の強化戦略に基づく支援  
次世代アスリートの発掘・育成  
スポーツ医・科学等による支援  
ハイパフォーマンスセンター等の充実

### 4 クリーンでフェアな スポーツの推進

インテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)を高める  
コンプライアンスの徹底  
スポーツ団体のガバナンス強化  
ドーピング防止

### ポイント3

障害者スポーツの振興やスポーツの  
成長産業化など、スポーツ庁創設後  
の重点施策を盛り込む。

など